

平成21年度第5回庁議 会議録

[日 時] 平成21年8月3日(月) 午前9時40分～午前10時10分

[場 所] 本庁応接会議室

[出席者] 市長、副市長、教育長及び各部局長

※建設部は総括次長、水道局は総務料金課長代理出席。

[会次第]

- 1 市長あいさつ
- 2 議 題
- 3 連絡事項

(1) 定員管理計画について

(総務部)

(2) 衆議院総選挙について

(選挙管理委員会事務局)

1 市長あいさつ

おはようございます。今年は、梅雨明けが遅かったのですが、これからまだ暑い日が続くと思います。台風シーズンはこれからですが、先月来の九州北部、山口県の集中豪雨による被害が出ています。新居浜でも平成16年に被害を受けていますが、改めて十分な警戒を行う体制をとっていただきたいと思います。具体的には、部長を始め、担当者も変わっていることと思いますから、それぞれの危険箇所や想定される対応の現場などを皆さん自身でよく頭に入れて、現場を知っておくようにこのシーズンまでに把握をしておいていただきたいと思います。また、防災意識、防災訓練等を行いますけど、普段からの心がけをお願いいたしたいと思います。先日来、花火大会、その後の清掃と、大変雨の間でご苦労だったと思いますが、お疲れ様でした。

2 議 事

本日は、前もっての議題としての提出はない。

3 連絡事項

市長 定員管理について総務部から説明をお願いする。

総務部長 平成21年度から平成25年度の定員管理計画について説明する。

本市の定員管理については、毎年度、事務量調査等に基づき、5か年の定員適正化計画を策定してきた。しかし、平成17年度に策定された集中改革プランに基づく削減目標を着実に達成するために、平成18年度からは平成22年度を目標とした計画を策定してきた。計画では、平成17年4月1日の965人と比較して、平成22年

4月1日までに5%、49人の減員目標を設定し、この間、「事業のスクラップ」、「事務量減による減員」、「定員減による減員」あるいは、「職種による退職者不補充」などにより定員削減を図ってきたが、平成22年4月1日における定員は908人の予定であり、57人の減員を見込んでおり、目標値に対して8人の上乗せとなっている。従って、目標達成の目処が立ったので、今年度からは、従来の5か年計画を策定する。計画の策定については、平成25年度までの事務量等の推移の把握が必要であるが、現在、第5次新居浜市長期総合計画の策定作業や新居浜市行政改革大綱の見直しが行われており、新規計画に基づく新たな事業、あるいは地方分権の進展に伴う事務量の増などの様々な不確定要素を見込んだ上で計画を策定することは難しいと考えている。従って、今後、本市の定員管理計画については、策定年度により大幅な見直しが予想されますので、昨年度までは「新居浜市定員適正化計画」であったが、今年度からは、「新居浜市定員管理計画」として策定していく。平成22年度以降の定員管理については、「年度別定員管理計画」に示しているが、先ほど申し上げたとおり「第5次新居浜市長期総合計画」などによる新規事業等については計画に盛り込んでいない。また、集中改革プランは、平成22年度までの計画であり、平成23年度以降については、今のところ、国から新たな指針は示されていないが、国においては、平成22年度以降の5年間で10%以上の人員削減を目指している。従って、引き続き、指定管理者制度の導入、事務の委託や簡素化などに取り組み、定員抑制のための努力をお願いします。

市長 今、説明があったとおりであるが、22年度以降については、事務量減、退職不補充等予定されているものだけ入れている。他の事業については、まだ流動的であるということである。

総務部長 他の事業については、秋のヒアリングで協議をする。

市長 公務員全体の定数については、今度、衆議院選挙のマニフェストで20%減とか、出ているが、国の政権がどうなるろうとも政策は変わってくると思うので、今まで以上に自分たちの自主的な判断や方針を持たなければ、言うとおりにやらされているのではいけない。その基本となる長期総合計画やこれからの事業計画と並行して次の5か年間を作っていきたいと思っている。

何か質問はあるか。

福祉部 福祉部の専門職の定員について、保育士については、年齢構成の是正ということで、ある一定程度の採用計画を立てているが、保健師については、現状の事務量の中で、昨年度9名不足ということで昨年2名、今年1名採用予定で3名の職員が増えるということであるが、まだ現状では事務量的には不足しているが、そのあたりの保健師の定員の増計画というのは、これには表れていないがどうか。

総務部長 今後、秋のヒアリングに向け、協議していく。

消防 平成16年災害以降、平成22年度まで消防職員の増員計画が凍結になっているが、

凍結後の増員計画の話し合いを個別に持たせてもらいたい。消防の増員計画は、最低限の人員の確保なので、広域とも関連させながら協議が必要であると思っている。救急件数は、従来と比較してあまりにも増加して、現場到着までの時間が、大幅に伸びている。全ての消防隊の体制を救急に割り振って、災害出動のその他の火災等の出動態勢が貧弱になっている。そういう状況であるので、是非協議をしたい。

総務部長 消防については、広域化の関係もあるので、その状況によっては、大幅に変わってくることも考えられるので、個別に協議したい。

市長 各部局長と定員管理、現在の仕事の状況を含めて、私と副市長でヒアリングをする。事務局は事務局で行うが、もう一度、状況を直接確かめて、どのように考えているか、どうしたいかを聞く。

副市長 総務部の方で積み上げの資料は作るのか。

総務部長 秋のヒアリングを行い作成する。

市長 それを踏まえて、ヒアリングを行う。

経済部長 定員管理計画の中に職種別の計画を入れてもらいたい。一般職と技術職で、今、技術職の年齢構成が、大変おかしくなっていると思う。定員管理計画の中で、一般職と技術職を分けて計画を立てていただきたい。そうしないと、技術職の後継者がいないところといるところと、新居浜市にとって必要な技術職が足りないということも生じていると思うので、定員管理計画の中で職種別の計画を入れることを要望する。

建築であれば、何人の職員がいるのか、年齢構成がどうなっているのか、土木技術者は何人必要で、どういう構成年齢になっているのか、機械、電気、新居浜市として必要であれば、これだけの職員を確保していくという計画がないので、一般職と技術職は分けて定員管理計画は定めるべきであると考えてる。

市長 他にないか。以上のような意見を踏まえて、もう一度定員管理計画を作っていく。次に衆議院総選挙について、選挙管理委員会から願います。

選挙管理委員会事務局長

選挙管理委員会事務局からお願いとお知らせをする。衆議院議員総選挙は、8月18日公示、同30日投開票の日程で行うことが決定された。それにより、期日前投票は、市庁舎1階ロビー及び別子山支所で、8月19日から、最高裁判所裁判官国民審査は、8月23日から実施する予定である。各部局では、選挙に伴う施設の使用、職員の選挙事務従事等に理解と協力をいただくよう所属職員に周知をお願いする。応援勤務については、8月14日から9月1日までお願いすることとなるので、重ねて協力をお願いする。

市長 選挙、よろしく願います。あと、連絡事項ないか。

福祉部長、インフルエンザの土日の状況は。

福祉部長 ミドリ保育園については、土曜日は休みも多いので、大きな変わりはないということで、現状のままで対応をした。多喜浜小学校放課後児童クラブについては、本日まで

では全員が自宅待機の対応ができ、自宅待機している。本日の状況によって、変化が現れることが考えられる。相談件数は、保健センターで土曜日が4件であった。

消防長 土日それぞれ4件あった。特に問題となるような問合せはなかった。

市長 インフルエンザは、現在対策本部を設置している状況である。毎日の状況については、把握をして報告をしていただきたい。学校は、夏休み中であるが、今の間に危機管理としてどういう対応を取るのか様々な想定をしておいてください。

市民部長 土日までの対応は、保健センターと消防でやっているが、今日以降については、どういう対応とすればよいか。平常に戻すのか。(夜間対応)

福祉部長 土日の状況、今日の午前中の状況で平常業務に戻すことを決めても良いと考えているが、午前中の結果を待って対応したいと思っている。

市長 他に連絡事項は、あるか。

経済部長 木曜日に長雨のため、魔戸の滝へ行く道路が、がけ崩れになり、進入禁止にしているのでお知らせする。

市長 他に長雨による影響は出ていないか。

消防長 現在のところ消防には、長雨による影響の連絡は入っていない。

市長 冒頭にも言ったが、危険箇所とか連絡をとるべき所とか把握はできているので、そういうところをもう一度事前に確認をしてその準備をしておいてください。8月中旬までにはもう一度確認をしておいてください。

他に連絡事項は、あるか。

ないようなら、これで第5回庁議を終わる。